

第3回サイエンスカフェ茨城報告書

日時：① 令和元年12月12日(木) 14:00～16:10

② 令和元年12月19日(木) 14:00～16:10

場所：① 大洗地区 大洗わくわく科学館

② ひたちなか地区 ひたちなか商工会議所 300号会議室

議題：第1部〔講演〕

放射線の話<演示実験>放射線の観察

第2部〔卓話〕

① エロニビサザコーヒー農園がカウカ州のコーヒー品評会で優勝したコーヒーを自分で入れて飲みましょう

② コーヒー産地の手芸とパナマ、モラの話

講師：第1部 日本原子力研究開発機構 高田千恵氏

助手：後藤有佳氏、薄井絢氏、五位淵章太氏、和田莉奈氏、佐藤和二郎氏

第2部 ひたちなか商工会議所会頭 鈴木誉志男氏

参加者：

① 参加者数：19名(男性4名、女性15名)、年代：30～80歳代

② 参加者数：17名(男性11名、女性6名)、年代：20～70歳代

配布資料：

(1) 講演関係；放射線の話(パワーポイント原稿)

放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料

上巻「放射線の基礎知識と健康影響」平成30年度版

下巻「東京電力福島第一原発事故とその後の推移(省庁等の取組)」平成30年度版

(2) 卓話関係；サンプラス諸島の食文化とモラルを作る女性たち

(3) 事務関係イエンスカフェ茨城アンケート用紙

報告事項：

1. 開催挨拶

中村保雄事務局長から、第3回開催の挨拶、配布資料の確認があった。

2. 第1部〔講演〕；

「放射線の話」のパワーポイントを用いた優しい約20分かけての説明があり、中間に「放射線を測る、見る」をテーマに、簡易測定器を用いて、サンプル(花崗岩、カリウム含有塩、カリ肥料、湯ノ花、マントル)の測定体験をした。合わせて、霧箱による「放射線の飛跡」の観察体験を行った。その後、放射線被ばくの影響リスク、自分の住む場所の放射線量等の話があった。

3. 第2部〔卓話〕

①大洗わくわく科学館

コーヒーの品質を定量的に評価するために審査の基準を検討して次のように決めた。

アロマ（香り）、フレーバー（におい）、後味、良い酸味、ボディ、ユニホーム（一貫性）、クリーンな味、スイート（甘味）、バランス、総合的 の10項目である。

コーヒーの焙煎には、酸味が強い順に、ライトロースト、シナモンロースト、シティロースト（アメリカン）、フルーティロースト（サザコーヒー）、フレンチロースト、イタリアンローストである。後の順番の方が苦味が強く、カフェインが多いことになる。

②ひたちなか商工会議所

中米のパナマ共和国のカリブ海側に点在する400近く数多くのサンプラス諸島についての卓話があり、特に、島に居住する女性たちが着るブラウスを飾る多重アップリケである。織物「モラ」は赤、黄、緑、青などの原色の長方形の布を3枚・4枚と重ね、切り絵のように切り抜いた布をリバースアップリケして模様を表すもので、縫い方には20種以上もの技法があると言われ、一枚のモラを完成させるには4カ月もかかるとのこと。多数持参した「モラ」を回覧、展示物の閲覧があった。途中、パナマゲイシャコーヒーおよびコロンビア農園産の自家製コーヒーの試飲があった。

アンケート結果

主な結果（大洗地区）

- ・参加者数：19名（男性4名、女性15名）
- ・アンケート回収数：17名、年代：40～80歳代
- ・講演：76%（よく理解できた6%、理解できた70%）
- ・卓話：70%（よく理解できた35%、理解できた35%）
- ・時間はいずれも丁度良いが70%代

主な結果（ひたちなか地区）

- ・参加者数：21名（男性7名、女性14名）
- ・アンケート回収数：20名、年代：20～70歳代
- ・講演：85%（よく理解できた40%、理解できた45%）
- ・卓話：90%（よく理解できた45%、理解できた45%）
- ・講演時間：丁度良い85%、卓話時間：丁度良い75%
- ・意見：放射線測定器を初めて使うことができ、数値も知ることができて理解の手助けになりました。女性スタッフのお話が聞きやすかった。

企画者の感想

今回の講演のテーマは放射線の話。参加者に合わせてできるだけ理解しやすい内容とした。すなわち、専門的知識を有する講師（女性）と助手（男性2名、女性3名）が講演を担当し、スクリーンを使った放射線の基礎の話と身近な話題の解説の間に、放射線を実際に自ら測定する体験および会場内の自然放射線を目で観察体験できる「霧箱」を使った演示実験を行った。このため、アンケート調査結果が示すように講演内容を理解できた方がほぼ80%であった。しかも、第2回目のひたちなか地区での結果は、“良く理解できた”が40%に達した。これは、講演方法の改善の努力の結果であると考えられる。

一方、卓話の内容も参加者の評価が高く、熱心に耳を傾けていた。全体として、サイエンスカフェ茨城の参加者数にも関係している。（写真参照）

【開催の様子】

大洗地区



第1部 講演に先立つ主催者挨拶



放射線の話の説明風景

ひたちなか地区



卓話の話を熱心に耳を傾ける参加者



身近かなサンプル（花崗岩、塩、カリ肥料、湯ノ花、など）の放射線測定体験



放射線が観察できる「霧箱」を覗き込む



コーヒー産地の手芸とパナマ、モラの話

以上